

## 富士宮高校会議所 SDGs実践でサツマイモつる挿し 事業所とコラボ マスマス元肥の普及へ



富士宮高校会議所（杉山栄奈会頭）はこのほど、(株)トウネツ東海事業所（望月城也太代表取締役社長）とコラボして、富士宮市外の煙でサツマイモのつる挿しを行った。SDGs実践マスマス元肥（げんび）を施した畑で栽培し、付加価値をつけた商品開発により持続可能な社会づくりを目指した。

同会議所はニジマス社とコラボしてスイー

機械を用いたツル挿し

作業に励む

富士宮高校会議所の残渣（ざ）と朝霧牛糞を用いて製造したマスマス元肥の普及と耕作放棄地をよみがえらせるためのプロジェクトの一環。採れた野菜や果樹、草花栽培を推進して新たな特産物の創出を図っている。

同社農園部が管理する畑で機械による苗の植え付けや、ビニールマルチを張った畝（うね）に会員たちが1本ずつ丁寧につるを挿して土をかける作業に汗を流した。収穫後は同

ツを加工し、ネーミングを考案するなどして新たな特産物の創出を目指す。

富士山こどもの国のか、「里山教室・畑コース」に参加し、マスマスマ元肥について説明し、受講者のジャンボ力の植え付けを手伝つた。また、マスマスマ元肥で育てたジャンボ力ボチャのコンテスト（9月24日）や、ヒマワリの種から油を抽出するなどの商品開発に取り組んでいる。